

越境 EC 事業を展開するインアゴーラ

3期連続で国税庁「日本産酒類海外展開支援事業費補助金事業」の連携事業者に選定

～国税庁と共に、日本産酒類の中国国内でのブランド化を推進～

「ショッピングに国境はない」をスローガンに、中国消費者向け日本商品特化型越境 EC プラットフォーム「豌豆（ワンドウ）」を運営するインアゴーラ株式会社（代表取締役 CEO：翁 永颯 所在地：東京都新宿区 以下「インアゴーラ」）は、このたび、国税庁が取り組む「日本産酒類海外展開支援事業費補助金事業」にて、応募総数 69 件の中から 49 件の連携事業者の一件として選定されました。2020 年、2021 年に続き、3 期連続で選定いただきました。



プライベートブランド「玉響（たまゆら）」梅ウイスキーのラベルデザイン

「日本産酒類のブランド化推進事業」は、酒類事業者による、日本産酒類のブランディング、インバウンドによる海外需要の開拓といった日本産酒類の高付加価値化や認知度向上に向けた取組を支援することにより、日本産酒類の輸出拡大を図ることを目的としています。

インアゴーラは、これまで、日本酒をはじめとした日本産酒類の中国国内への展開を積極的に行ってきており、越境 EC アプリ「豌豆公主（ワンドウ）」での販売に加え、中国大手 EC プラットフォーム内での日本酒を専門に取り扱う旗艦店「豌豆公主（ワンドウ）酒水旗艦店」の開設や、獺祭などの日本酒のブランド旗艦店の運営サポート、中国版 Tikiok（抖音）をはじめとしたライブコマースでの販売、オフラインでの販売など多岐にわたる取組を行ってまいりました。

また、販売チャネルの拡大のみならず、日本酒の情報を体系的に紹介する日本酒専門メディア「清酒指南」を開設するなど、日本酒の歴史や文化、各地方酒蔵のブランドストーリーをコンテンツとして充実させ、中国のお客様にお届けしていく取組みも行っています。

今回の選定では、実施事業の先進性・優位性および将来的な事業展開の可能性などが評価項目となりました。インアゴーラは、日本産酒類の中国市場におけるブランディングに強みを持っており、そのノウハウをプライベートブランドというブランディングを最も必要とするカテゴリーにおいて実行性、事業性、継続性を評価されてこのたびの採択に至りました。「玉響（たまゆら）」というプライベートブランドのゼロからの育成のノウハウと将来性などにご期待と評価を頂いたと捉え、これまで蓄積したノウハウをさらに継続的に活用し成長させていくことに一層注力いたします。

引き続き、インアゴーラは本事業と連携し、プライベートブランドのブランディングの強化に努めていくと共に、他の日本産酒類の更なるブランディング、マーケティングでも本事業で培ったノウハウを基に還元してまいります。

インアゴーラは、今後もより多くの日本商品を中国のお客様に紹介し、日本の商品とライフスタイルを楽しんでいただく場をお届けします。

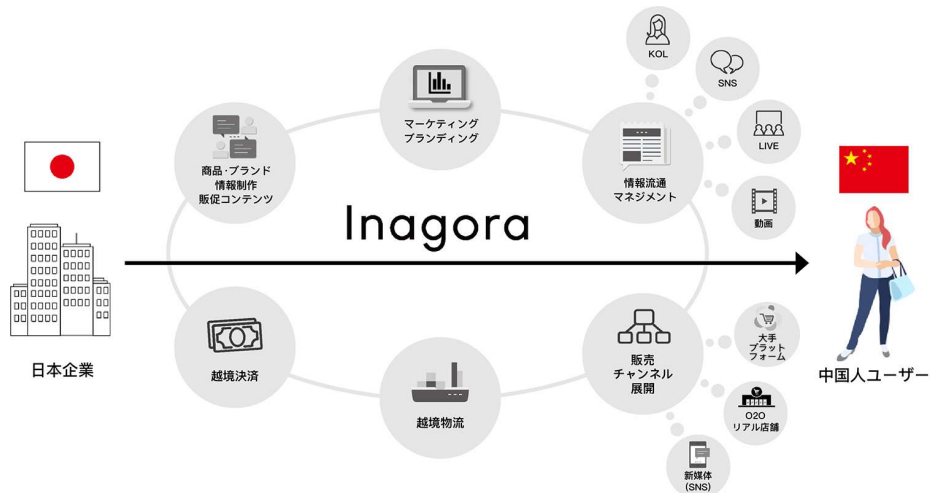
Inagora

■Inagora 株式会社 概要

本社所在地 : 東京都新宿区市谷本村町 1 丁目 1 番住友市ヶ谷ビル 6F
会社設立 : 2014 年 12 月 15 日
代表取締役 CEO : 翁 永颯
URL : <https://inagora.com>

「ショッピングに国境はない」をスローガンに、日本の優れた商品やサービスをインターネットを通じて中国向けに展開する越境 EC 事業、および上記に伴うコンテンツ制作、物流、海外マーケティング、など複合的な付帯事業を行っています。

インアゴラは、日本企業が海外進出を検討する際に必ず課題となる「情報の越境」「物流の越境」「決済の越境」のすべてを解決する、ワンストップソリューション型の B to B to C 越境 EC プラットフォーム「豌豆 (ワンドウ) プラットフォーム」を運営しています。商品の翻訳、物流、決済、マーケティング、顧客対応、他チャンネル展開などの全工程を担うことで、日本企業と中国消費者間の文化的ギャップを吸収し、日本企業の中国進出をサポートします。日本の企業はインアゴラの日本国内倉庫に商品を配送するだけで、国内 EC ショップを 1 店舗追加するよりも簡単に、巨大な中国市場に進出することができます。



「豌豆 (ワンドウ) プラットフォーム」イメージ